

長崎歴史文化博物館で長崎奉行流おもてなし

～長崎の異文化交流の歴史を学び、体験し、味わう～

(一社)長崎国際観光コンベンション協会は、2023年12月13日(水)、長崎歴史文化博物館を活用したモデルイベント「長崎奉行流おもてなし」を実施した。

観光庁の「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致競争力向上事業」に選定された(一社)長崎国際観光コンベンション協会が、長崎がミーティング・インセンティブ旅行の受け入れ都市としての地位の向上、利用促進をめざして特別感のあるコンテンツの開発・磨き上げを実施。その実証イベントとして、歴史ある建築物や長崎らしさを感じられる特別な会場である長崎歴史文化博物館をユニークベニューとして活用し、長崎の「和・華・蘭(わからん)文化」の魅力を五感に訴えた。

博物館の入り口に降り立つと、夜のしじまに、風情のある艶やかな音色。長崎諏訪の森に復元された長崎奉行所の建物が醸し出す400年の歴史を前に、芸妓衆の演奏を楽しみながらのウエルカムドリンクは、夜空に浮かぶ月の美しさも手伝ってウォームアップには十二分な効果をもたらした。

建物に入った参加者たちは思い思いの「着物」を羽織り、異文化を受け入れ独自の発展を遂げる長崎の歴史世界へ没入していく。その後、博物館を舞台に生け花&フラワーアレンジメント、御白州劇、卓袱料理など、さまざまな「体験」を通じて長崎の「和・華・蘭(わからん)文化」を体験。

一つ一つのコンテンツに、ミーティング・インセンティブ旅行参加者の心をつかみ、モチベーションアップはもちろんロイヤリティ、エンゲージメントを高める長崎ならではの工夫が凝らされている。例えば生け花&フラワーアレンジメントでは、参加者が大きな花器に長崎市の花であるアジサイを生けこんでいく。さまざまな体験を終えた終盤には、花の「和・華・蘭」フラワーアレンジメントに整えられ、最後の一輪を参加者代表が生けこみ完成。御白州劇では、日本人、中国人、オランダ人が登場。それぞれに主張を述べるが、名さばきで平和的解決がなされる。この劇では、参加者の一人が奉行を演じ、皆で盛り上げるサプライズ演出も楽しい。

和・華・蘭が融合した料理を大皿に盛りつけ円卓で味わう長崎市伝統の郷土料理の卓袱料理は、ヒルトンホテルのシェフの手によるもので目にも美しい。料理には、地元のお酒とのマリアージュも提案される。長崎検番・芸妓衆の踊りや唄、伝統のお座敷文化のもてなしに、弾む会話と響くカメラの撮影音。お土産には異国情緒を楽しめるガラス細工の長崎ビードロ(ぼっぺん)と食の世界遺産「味の箱舟」に認定された伝統柑橘「ゆうこう」が用意された。

MICE開催地「長崎市」の価値や魅力を表現するMICEブランド「Nagasaki JAPAN. A city of legacies」。4つの出島(長崎の人、歴史、文化、遺産)をモチーフに風車をデザインしたシンボルマークに込められたコンセプトは、「交流の風が世界をより平和で豊かにする」である。人と世界の未来を変える風が吹く長崎では、ミーティング・インセンティブを成功に導く源泉が湧き出ている。さらなる開発・進化・磨き上げで、ミーティング・インセンティブ開催地としての価値拡大に期待したい。



①かつて「江戸の吉原」、「京の鳥原」と並ぶ三大花街と言われた「長崎丸山」。この長崎の花街の伝統を守る長崎検番・芸妓衆の演奏を堪能しながら、ウエルカムドリンクをいただく。贅沢な幕開けだ! ②お気に入りの着物を羽織る ③長崎市の花・アジサイを生けこんでいく



④和・華・蘭人が登場する御白州劇 ⑤鯛のひれが入ったお吸い物「尾鱸(おひれ)」でスタートする卓袱料理。「お客様一人一人に、鯛一尾を使っておもてなしをいたしました」というおもてなしの心が込められているようだ ⑥突如、現れた変面師。中国伝統芸能「変面」の華麗なショーで、最後まで盛り上げてくれる